



高橋 たかはし

(大樹会) 功 議員



佐野市の水道施設の耐震化と更新の方向性について

Q 健全財政を保つために水道料金の改定の考
え方について伺いたい。

A 上下水道局長

水道料金の改定については、令和2年度に策定した水道事業経営戦略において財政シミュレーションを行っていて、その中では令和7年度に赤字決算が見込まれるため、令和8年度に改定が必要としています。

社会情勢等の変化により、令和6年度の当初予算は赤字計上し、また令和5年度決算も赤字となるなど、経営戦略策定の時点よりも料金改定の必要性が高まっています。

安全で安心な水道水を安定的に供給していくためには、施設の耐震化や老朽化した水道管の更新を計画的に実施していく必要がありますので、近い将来適正な料金への改定を検討する必要があるものと考えています。

その他の質問

☆栃木県の盛土規制法に基づく規制区域案について
☆樹木への害虫と害獣による深刻な被害の現状について



菅原 とおる

(公明党議員会) 達 議員



産業用地の整備の推進について

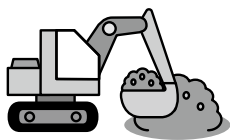
Q 国道50号沿線開発(西側エリア)は、ハザードマップ上で浸水エリアにあることが、産業用地として企業を誘致する際、他市との比較におけるデメリットになると懸念する。このハザードマップ上での懸念をいかに払拭するのか、何をもって安全であるということを示すのか、伺いたい。

A 市長

災害対策を十分に行い、リスク管理も行いながら、デメリットをメリットに変えて、企業への用地提供を行っていきます。また、垂直避難の在り方等も加味しながら、進出する企業があることに對して、その企業を応援できる環境を整えれば、その環境において、企業を応援していくことは当然であると認識をしています。

その他の質問

☆幼児教育・保育の充実と質の確保について
☆骨密度検査の重要性について
☆市営住宅の共益費の取り扱いについて
☆猫の去勢・不妊手術費用などへの助成制度創設について



田所 よしお

(新政クラブ) 良夫 議員



国際防災拠点の創設及び防災関連企業の誘致の背景、構想、進捗状況について

Q 仮にこの国際防災拠点の創設を行わなかったときに、本市の行政及び市民生活にどのような影響、リスクがあるか伺いたい。

A 市長

議員から松の木ということで、風雪に耐えながらも、歴史を積みながらも、その中でしっかりと大地に根を張ってきたと、そこから学ぶものは大きいものがあります。松で議員は例えていたいただきましたが、残念ながら松には花が咲きません。実はつけるかもしれません。私としては、これに花がつくように、佐野市があってもいいと思います。10年、20年先の佐野市を見据えながら、国際防災拠点の在り方というものの、地域社会の一員として、そして国際社会の一員として、市民の皆さんや議員の皆さんと一緒にやってつくっていくことをお約束します。

